

## 水質の感覚的評価と浄化方策 第6回ワークショップ 議事録(案)

日時:平成 18 年 8 月 18 日(金曜日) 午後 6 時 30 分～午後 9 時

場所:名古屋工業大学 24 号館 1 階 116 号室

参加者:石黒,井上,栗田,近藤,佐々木,杉山,武田,田中,富永,中島,原田,吉田

### 議事

1. 第 5 回の議事録の確認が行われた。(資料不備により第 2 ページが確認できませんでした.)

2. なごや夏まつり 河川コーナーへの出展状況

原田教授より,なごや夏まつり 河川コーナーの“におい”に関するまとめ(仮)が報告された.

3. 8 月 25 日の堀川観測について

#### 3.1 計測装置の状況

水質計:

名古屋工業大学	2,	名城大学	1,	中部大学	2,
名古屋市環境局	3,	名古屋市上下水道局	1		

流速計:

名古屋工業大学	2,	名城大学	2,	中部大学	2
---------	----	------	----	------	---

ビデオカメラ

名古屋工業大学	2,	中部大学	1,	国土交通省	4
---------	----	------	----	-------	---

#### 3.2 調査場所の設定

人員などの問題から,4 箇所による観測を計画した.

新田幡橋 最上流 (担当:名古屋工業大学)

五条橋 (担当:中部大学)

日置橋 (担当:中部大学)

御陵橋 最下流 (担当:名城大学)

#### 3.3 調査概要

平成 18 年 8 月 24 日(予備日)および 8 月 25 日(観測予定日)ともに,名古屋港の潮位は,

満潮 6:00,干潮 12:00,満潮 19:00

である.若干の時間遅れはあろうが,これを基礎とする.

水質計測,流速計測

1 時間毎に実施.

すべての場所において,水面より 0.5m,1.5m,2.5m...の 1m 毎と,底から 0.5m で観測を実施する.

下流では 2 方向の流速計を用いる.(五条橋では 1 方向の流速計を用いる.)

におい調査

アンケートによる調査を行う.時刻を記す.

においの種類,感覚的評価,ゴミの評価などについて,修正を行う.(原田先生担当)

採水

2 リットルのペットボトル(各班で用意する)に,6 時,9 時,12 時,15 時 30 分に採水する.

水はペットボトルいっぱいに入れる。

採水した水は、担当員(中部大学、後日決定する)が回収し、検査場所へ持っていく。

#### ゴミ調査

網を設置する。(中部大学作成、入り口の修正、三角の布をつける)

東山ガーデンに連絡する必要がある。(武田が行います)

「6時から12時」「12時から19時」にわけて設置する。したがって、2つ用意する。

(場所によっては、4つ。後日、決定次第連絡する。)

橋からくりつけることとなるため、水位によって調節する必要あり。10分をめでに適宜調節する。

目安として、入り口が7割水中、3割空気中となるようにする。

場合によっては、おもりを追加する必要があるかも？

(ゴミが採取できれば良いので、適宜対応してください。)

ビデオ撮影は、各班にまかせる。

(使用するビデオは各班で用意する。中部大学は三脚を国土交通省から借りる。)

### 3.4 調査スケジュール

8月24日 観測実施グループは、午後6時に名古屋工業大学富永研究室へ集合。

ゴミ採取用の網の重量計測と受け渡し。

持ち寄った計測装置の同時観測(近くの堀川で一回と淡水で一回)

8月25日 観測実施

6時よりスタート(集合時間、集合場所などは各観測グループに任せます。)

6時過ぎにペットボトル回収

9時過ぎにペットボトル回収

12時過ぎにペットボトル回収

15時30分過ぎにペットボトル回収

19時終了

網を回収する。

### 4. 第7回会議の日程調整

9月3日の中間報告会に向けて、調査の簡単なまとめと報告会発表内容の調整を考慮して、日程を調整する必要がある。

次回は、8月31日18:30から行う予定。場所は中部大学鶴舞キャンパス610講義室。

9月3日の中間報告会では、当研究グループの活動目的、「なごや夏まつり」におけるアンケート結果、「堀川観測」の概要、若干の結果(考察は含めない)が示せれば良い。したがって、水質の時空間分布、簡単なアンケートの結果、ゴミの種類と量は把握しておく必要がある。